

**広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書**

	記入日	2019年 6月 4日
派遣プログラム	<input type="checkbox"/> HUSA <input checked="" type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP	
留学先大学	ネバダ大学 (国名：アメリカ合衆国)	
所属学部・学科等名	Intensive English Language Center (IELC)	
在籍身分	留学生	
留学期間	2019年 1月 16日～	2019年 5月 10日

### 1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	短期留学をしたことはあったが、長期留学および寮生活を経験したことがなかった。英語圏での留学生活を通して英語力・コミュニケーション力を身につけるだけでなく、異文化にも触れたかったから。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	1年前。入学前から留学に行こうと決めていましたが、語学試験の勉強を開始するのが遅くなってしまった。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	日ごろから英語学習に取り組んでいました。また、英語メインの授業を履修していた。また、留学中の生活費・交流費のために貯金していた。

### 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類：学生ビザ (F1)
	ビザ申請先：駐大阪・神戸米国領事館
	提出書類：DS-160 確認ページ、パスポート、証明写真、面接予約確認ページ、I-20、SEVIS 費用支払い証明、残高証明書
	手続きに要した日数：2か月
その他必要な事前手続き	予防接種、寮の申請
出国年月日	2019年 1月 16日
経路 (往路)	松山空港→羽田空港→ロサンゼルス空港→リノ・タホ空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) ・ その他) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (期間：2日間 内容：プログラムおよび大学施設の説明) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2019年 5月 12日
経路 (復路)	リノ・タホ空港→ロサンゼルス空港→羽田空港→松山空港

### 3. 留学費用について

支	総額	895,000	円
---	----	---------	---

出 額	内 訳	渡航費（往復）	230,000	円
		ビザ申請手数料	40,000	円
		予防接種費用	50,000	円
		保険料	45,000	円
		教材費（授業料以外の学費）	18,000	円
		宿舍費（住居費）	320,000	円
		光熱費	0	円
		食費	300,000	円
		通信費（インターネット・携帯）	12,000	円
		交通費（宿舍ー大学間）	0	円
		交際費	50,000	円
		その他（保健センター・ジム等） （日用品） （衣服）	100,000	円 円 円

#### 4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	Reading/Writing (RW), Listening/Speaking (LS), スキルアップクラス (IS) (←※月替わりの選択授業で様々なトピックの中から興味のある授業を履修。私は Business Communication, Career Planning, Motivation, Happiness を履修。) 月・水：90分授業×2コマ(RW, LS)、100分授業×1コマ(IS) 火・木：90分授業×2コマ(RW, LS) 金：50分授業×3コマ(RA, LS, IS)
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についての アドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	留学前：単位交換ができないため、早めに卒業単位を取っておく。 留学中：宿題が毎日出される。日によって量は異なるが、徹夜する必要があるほど大量に出ることはない。コツコツやりこなしておく。休暇中（春休み）は宿題がなかった。レベルごとにクラスが分かれていたため、授業についていけないなどの問題はなかった。
日本と異なる授業形態 などにおける困難や挑 戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	授業は参加型（アクティブラーニング）で発言する機会が多く与えられていた。 グループワーク・ペアワークが多い。 ミニテストやプレゼンテーションが頻繁に行われた。 先生は授業の時間外でも質問や相談に応じてくれ、サポートしてくれた。

#### 5. 生活等について

(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）
住居の広さ	約 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有（6人） <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他（ラウンジ）
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約 8万 円
留学先での住居全般に 関するアドバイス	寮は設備が最低限しかないわりに高いと思った。私はルームメイトのものを使わせてもらっていたため不便をしなかったが、部屋に冷蔵庫や電子レンジ等の家電は一切ついておらず、自分（ルームメイト同士）で購入、もしくはレンタルしなければならない。

(2) 医療について	
保険の加入先	■本学指定の保険    □留学先大学指定の保険    □その他 (                    )
保険の補償内容	補償額 死亡        1億    円、 入院1日                    円 その他 (                    )
留学前後での予防接種の必要の有無	■有 (種類: 3種類 (Tdap(破傷風, おたふく風邪, 髄膜炎)    回数: おたふく風邪2回 ほか各1回        医療機関名: 上田循環器八丁堀クリニック) □無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療機関を利用しなかったためわからない。
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	気候差が激しいため, 服装等で体温調節を行う。 また, 胃薬や風邪薬等の常備薬は日本からある程度持って行っておく。 渡航後しばらくは疲れや環境の変化等で体調を崩しやすいため, 休めるときは早めに休息をとり, 無理をしすぎないようにする。 歯の治療は保険がきかないため, 日本で治療を済ませておく。
(3) 危険を感じた地域, 状況, 安全管理において注意したこと	
ホームレスが結構いるため (特にカジノの周り)、夜など一人で外出しない。 寮に金庫などがないためパスポートや現金、クレジットカード等の貴重品は常に身につける、もしくはカギをかけたスーツケースに入れておく。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
大学で指定されたミールプランをとっていたが、しばしば食事に髪の毛や砂利が混ざっていた。衛生管理が日本に比べてしっかりしてないため、食べるときは注意を払ったほうが良いかもしれない。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
気温差が激しい (ひどいときは20度以上の気温差)。 冬はしばしば雪が降るため、スノーブーツがあるとよい。 乾燥しているため、保湿クリーム等があれば便利。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
寮、および学内でWi-Fiが使える。 図書館は自習するのに最適。各フロア、コピー機やパソコンが完備されている。 ジム (別途支払いが必要) では、無料レッスン (ダンスやヨガなど) を受けることも可能。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
ルームメイトとの交流 サークル (日本語サークル) での交流 日本に留学経験のある学生との交流	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等, 注意すべきこと	
合法薬物 (マリファナ等) を使ったり、未成年で飲酒している学生と関わる際は事件に巻き込まれないよう気をつける。 寮は男女でフロアが別れておらず、しばしば異性が部屋を出入りする。	
(9) 日本から持っていくべきもの, 持っていくべきでないもの	
歯ブラシ (現地のものはサイズが大きい)、常備薬 (胃薬や風邪薬等)、日本食 (電子レンジご飯やみそ汁)、文房具 (現地でも買えるが高い) は持って行ったほうが良い。 それ以外のものは現地で調達可能。	

## (10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

渡航直後は疲れや環境の変化によって体調を崩しやすいため、休息をとるなどして体調管理に気を付ける。  
ルームメイトとの相性、生活スタイルがどうしても合わない場合は無理をせず、早めに部屋の変更を申請する。

## 6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2021年 3月 (当初の卒業予定年月 2021年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )
現在の状況および今後の予定・進路等	就職予定
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	卒業するのに必要な授業および単位数を確認し、早めに履修しておく。

## 7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント

## 8. 後輩へのメッセージ

留学は貴重な財産になると思います。語学力はもちろんのこと、様々な文化の人と接することで視野が広がったり、また改めて日本の良さを実感したりすることが出来ます。

## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

ももとはHUSAプログラムでの留学を考えていましたが、語学検定の対策を始めたのが遅く、期日までにスコアをとることが出来ませんでした。そこで見つけたのがUSACプログラムでした。HUSAプログラムとは異なり、語学メインであったため、英語力・コミュニケーション力を向上させたいと考えていた私にはぴったりのプログラムでした。

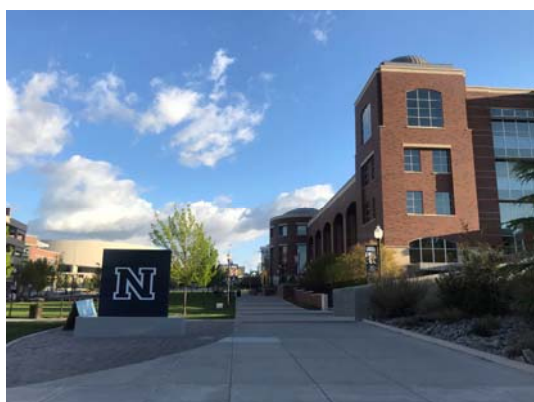
ネバダ大学・リノ校はキャンパスがとても広く、静かな場所に位置していて、勉強するには最適な場所だったと思います。また、図書館やジム等の施設がとても充実しており毎日のように利用していました。図書館は毎日多くの学生が勉強していたため、かなり刺激を受けました。

プログラムではReading, Writing, Listening, Speaking 全技能をバランスよく向上させることが出来ました。宿題が多く、夜遅くまで図書館にこもったこともありましたが、その分英語力も身につけられたと思います。また頻繁に行われたイベント（ピクニックやボウリング等）がとても楽しかったです。クラスがレベルごとに分かれていたので、授業では同じクラスの生徒としか関われませんでした。イベントでは他クラスの生徒や先生と交流することが出来ました。生徒の年齢層が幅広いので、様々な人生談を聞かせてもらったり、今後のキャリアについての相談をすることも出来ました。

授業外では、ルームメイトや日本に留学経験のある現地学生との交流、また手続きや買い物時における会話のやりとりを通して、コミュニケーション力を向上させることが出来ました。相手の言っていることが理解できなかったり、言いたいことをうまく表現できなかったりしてコミュニケーションをとることに億劫になっていた時期もありましたが、会話の質じゃなく会話そのものを楽しむことに重きを置くようにしたことであらゆる慣れていきました。現地学生のご家族と一緒に過ごしたイースターは忘れられない思い出です。卵に絵付けをしたり、子どもたちとエッグハントをしたり、家族みんなで食事や会話を楽しんだりして過ごしました。日本ではイースターの習慣があまりないので、とても貴重な経験になりました。

寮での生活は、生活リズムが違ったり、パーソナルスペースがあまりなかったりしてストレスを感じることもありましたが、いい異文化体験になったと思います。優しく接してくれたルームメイトには感謝の気持ちでいっぱいです。留学期間中、十日ほどでしたが春休みがあり、父と旅行をしました。ラスベガスやロサンゼルスを観光したのですが、グランドキャニオンの景色が一番印象に残っています。旅行中、幾度かトラブルもありましたが自分の力で解決することができ、留学中で学んだことが生かされていることを実感することが出来ました。

限られた期間でどれだけのことを吸収して帰ることが出来るか不安でいっぱいでしたが、自分のベストを尽くせた4か月だったと思います。勉強すればするほど、英語に触れば触れるほど、英語力は身につくことを実感することが出来ました。まだまだ課題はいっぱい残っているので、国際交流に積極的に参加したり洋画を見たりして今後も引き続き英語学習に励んでいこうと思います。また、自分の留学経験を後輩に伝え、留学を考えている後輩を後押し出来たらいいなと思います。



キャンパス内にて



プログラムのイベント交流



グランドキャニオンにて